



宇都宮 二郎 議員

三瓶町に特老ホームの建設を

10月中旬に方針示す

で、早急に善後策を講じて参ります。総合支所の見直しについては地域住民の声に十分耳を傾け、その上で検討研究を重ねることが大切ではないかと考えています。

是非、三瓶町に特老の建設を

問 三瓶町の特別養護老人ホームの建設について、過去3年半検討して参りましたが、いまだ決定されておりません。

問 合併後、各総合支所に活気がないように見えるが、三位一体の関係による予算減の結果ではないのか。理事者の所見を伺いたい。

総務部長 予算の有無によって職員の数勢が左右されることは、由々しき問題であり重く受け止める必要があります。

早急な対応と最悪の場合公設民営方式でも検討できないのか伺いたい。

福祉部長 三瓶地区に建設できるのは、平成17年5月頃に予定されている協議書の提出が最後のチャンスであるだろうと考えていますので、民間に頼ることができない場合は公設民営も視野に入れて検討する必要があるのではないかと考えています。

今後過去の経緯を十分検討して、本年10月中には西予市としての方針を示したいと考えています。



建設進む乙亥ドームは最後の大型ハコモノか

問 合併後、多くの公共事業が行われ、これから行われようとしている。公共建物事業は建設時に莫大なお金がかかるばかりか、出来てからの維持費が建物がある限り毎年必要となり、無用の長物になりつつある公共建物も見えつつあります。これからの公共建物事業についての考えを伺いたい。

総務部長 新市建設計画では、本庁舎及び総合支所の建設、温水プールスポーツセンターの建設、屋内運動場、子育て支援施設、社会教育施設、海の駅、農産物加工センター等々の建設計画が、旧

町からのそれぞれ思いを込められて計上しておりますが、この計画が合併後の5町の均衡ある計画で、西予市全体を捉えた計画か、等々を十分精査し、なお且つ住民が心から望んでいる施設整備か否か、住民の福祉の増進が図れるかどうかを十分議論しながら慎重に対応すべき事業だと思っております。

どうする危機的財政

問 行政改革と財政運営について、本年度の予算を見ますと財政硬直化が極端に進み危機的状況になっている。こ

これでいいのか地方債残高

問 本年度約46億円の地方債の発行が計上され、全体では膨大な地方債残高になるがどのような考えか伺いたい。

総務部長 建設計画の見直しを始め改革を進め最善の努力を払ってまいります。

台風災害早期復興を

問 台風16号18号は、市全域に甚大な被害をもたらした。今後の早期復旧について伺いたい。

産業部長 被害につきまして今後の復旧対策に取り組んでいます。又緊急時の対応は更なる関係機関との連携強化を図り迅速に対応して参ります。農地の被害については受益者の負担軽減を図り、早期復旧に努めたいと思っております。



活気なくなった各総合支所

陳情書の早急な対応を

問 それぞれの区長から陳情書が出ていると思うがいまだ何の説明もない。早急な対応が必要と思うが理事者の考えを伺いたい。

総務部長 各区長からの陳情書及び要望の取りまとめにつきましては、9月末取りまとめで実施しているところであります。本年度の要望につき

ハコモノ行政将来像は

河野 作生 議員

十分議論し慎重に対応



福祉法人のサービスに感動

梅川 光俊 議員

長期的に法人化検討



を図ってみてはどうなのか伺いたい。

福祉部長 直営施設は老人施設3施設、保育所10施設であり、職員は合計207名。予算に対する人件費は、78・2%です。施設法人は障害施設2、高齢者関係5、保育所7、温泉施設1施設で、職員数合計33名です。人件費は74・8%です。長期的に市民の意向を踏まえ研究をして参ります。

予算がない！合併とは何だ

問 負担は低い所に合せ、行政サービスはより高くするというばらしい考え方で合併をしたが、当初から予算が有りませんでした。補助金は2割カット。痛みは痛みで理解出来るが、市民の不安感を払拭するため、予算と今後の方向性について考えを伺いたい。

総務部長 予算措置に対して、説明不足で不安を感じさせた対応がありました。したならばお詫言ひ申し上げます。交付税2・1%減であります。ほぼ計画通り進行しています。災害対応に対しては、市単独

事業は予算計上致しておりますが、引き続き市健康

全財政の方向性に理解、協力をお願い致します。

サービスがともゆき届いた福祉法人

